

報告・評価シート

【報告日 令和 7 年 12 月 9 日】

【評価日 令和 8 年 1 月 21 日】

事業所名 ソーシャルインクルーホーム宝塚山本野里

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルー株式会社			人員配置	日中					
	指定日	令和 5 年	7 月	1 日		世話人	生活支援員				
	所在地	宝塚市山本野里 2 丁目 14-26				17 人	4 人				
	定員数(共同生活援助)	20 人				(常勤換算後)	(常勤換算後)				
	定員数(短期入所)	2 人				7.1 人	4 人				
	共同生活住居数	1 戸				看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無 0 人				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間					
	住居名:ソーシャルインクルーホーム宝塚山本野里Ⅰ		10 名			世話人(夜間)	生活支援員(夜間)				
	住居名:ソーシャルインクルーホーム宝塚山本野里Ⅱ		10 名			4 人	4 人				
	住居名:		名			(常勤換算後)	(常勤換算後)				
	住居名:		名			2.1 人	0.9 人				
	住居名:		名			看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無 0 人				
	事業所の特色・独自の取組		入居者様の特性を理解した個別支援計画を重視し、一人ひとりの安心できる環境づくりに努めています。また、近隣の系列グループホームを広域的に支援するスタッフがいるので、広い視野での技術指導や連携、相談が円滑にできるような特徴があります。								
	2 利用者状況 (令和7年11月末現在)	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)				
非該当		0 人			身体		総 数:	3 人			
区分1		0 人					主に日中 GH で過ごす人数:	1 人			
区分2		0 人			知的		総 数:	10 人			
区分3		6 人					主に日中 GH で過ごす人数:	1 人			
区分4		5 人			精神		総 数:	8 人			
区分5		4 人					主に日中 GH で過ごす人数:	2 人			
区分6		4 人			難病等		総 数:	3 人			
合計		19 人					主に日中 GH で過ごす人数:	1 人			
年齢構成		・60歳以上 2 人 ・50歳代 3 人 ・40歳代 5 人 ・30歳以下 9 人									
障害特性等		医療的ケアの必要な者 0 人 強度行動障害のある者 3 人									

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
3地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 (19) 名中(19) 名	■ 問題なし
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例)	日中サービス支援型共同生活援助は地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されています。他のグループホームの取組を参考にしながら、積極的に受け入れてください。
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 地域の催し物に参加はできていないが、地域の自治会長様にお会いしてご挨拶をさせていただき、今後の自治会イベント予定表をいただき参加を検討する予定。	利用者へ還元するために地域にある社会資源の把握してください。また、地域住民への障(がい)理解の啓発も含めて、積極的かつ、具体的な目標設定をお願いします。
4 常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 24 時間 365 日職員配置を行っている	■ 問題なし
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 消防職員立ち合いによる訓練と併せて、年に 2 回消防計画 BCP における避難訓練実施。と、自治会の避難訓練の参加を検討する。	■ 問題なし 地域の防災訓練に参加するなど、自助・共助を意識した取り組みを行ってください。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)) 協力医療機関やかかりつけ医との連携し必要な受診等に努めている。	■ 問題なし
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 食材発注業者が示す調理方法に基づいて、食事ごとにホームの職員で調理し、適切な栄養価に基づいて計算されたメニューをその場で提供している。また、食事時間が楽しい時間となるように支援している。	■ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
5 短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 11 名	■ 問題なし 昨年の 8 名より増えており、引き続き受け入れをお願いします。
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(緊急受入人数) 0 名 (緊急受入事例) 今年度はなし	貴事業所の短期入所には緊急一時的な宿泊の場を提供する役割があります。受け入れ方法等の関係機関周知の取り組みも検討ください。
6 支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) 受診時の付き添いや行政手続きに同行して支援している。 余暇時間のはなし相手を積極的に行い健康管理の支援などを行っている。	本人が充実した地域生活を送るためには、意思決定支援の考えを中心に関係機関と連携する仕組みを検討及び実施に努めて下さい。また、 <u>地域との連携による社会資源の把握に努め、日中支援が画一的にならないように配慮してください。</u>
	支援の質の確保に努めているか。 (研修等)	(参加した研修名等) 障害特性研修(22)名、避難訓練研修(22)名、感染症食中毒研修(21)名、虐待防止研修(2)名、誤嚥防止研修(22)名、権利擁護研修(22)名、緊急対応研修(22)名。 研修の理解度については、紙、またはグーグルフォームによるアンケートを実施し、管理者、運営部が確認したうえで対応している。	概ね全員の職員が障害特性、避難訓練、感染症食中毒、誤嚥防止、権利擁護、緊急対応研修を受けていることは評価できます。虐待防止研修の受講数の増加や、職員同士が意見交換する場の設定、OJT 等も検討してください。
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 4 名 (体験利用の事例) 初めてグループホーム入居をご検討の方や、外泊そのものが初めての方に向けて、1 週間(2泊3日～6泊7日)の無料体験を実施。	■ 問題なし 地域移行の促進に関する役割もあることから、一人暮らしが可能かを見極めるための体験的利用を積極的に今後も受け入れるようにしてください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) 人材不足と利用者への適切なケアの提供 (利用者・家族からの意見・希望) 利用者様からはお出かけに連れて行って欲しいと希望される方が多いが人員的に難しい状況で職員が代行で月2回の買い物に行っている。	福祉人材の不足については貴事業所だけの問題ではなく全体としての課題ですが、現在入居者の方の支援が疎かにならないよう、人材確保策を検討してください。
7 利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ホームにて立替小口制度があるので、金銭管理が必要な方は出納帳をつけて管理している。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(☒ 有 ☐ 無) ・有の場合の支援内容記載(利用者数 2人)	■ 問題なし
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) 複数の選択肢から自己決定できるように丁寧に説明するように心がけている。また、個人情報の書類や帳票類に関してはカギがかかる書庫等にて管理している。	個人情報の管理については、引き続き適切に管理をお願いします。 自己決定、家族合意については、意思決定支援の考えを中心に関係機関と連携する仕組みを検討及び実施に努めて下さい。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 社内研修を年に 2 回実施し、全職員で学ぶ場を設定している。 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を都度開催し、発生時の対応やその後の対応等を検討する場を作っている。	■ 問題なし
8 入居/退去状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 3 人 (報告・評価対象年度の退去者数及び事由) ・退去者数 1 人 ・主な退去 自傷、他害、破壊行為の繰り返し	やむを得ない退去もあるかと思いますが、関係機関と適切に情報共有し、退去後の生活についても相談支援事業所と協力する支援を検討してください。
9 他の日中活動サービスの利用	GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) ○入浴、昼食、排泄など利用者様に合わせて支援を行っている。 ○通院同行 ○健康管理 など	本人が充実した地域生活を送るためには、意思決定支援の考えを中心に関係機関と連携し、実施に努めて下さい。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	他の日中活動サービスの利用を妨げているか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用(19)名中(14)名 (主な他の日中活動サービス種別・利用先) SPACE、わくわくワーク、さざんか福祉会系列事業所 If, hana, E-NEXT,	■ 問題なし
10 利用者の健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護師の訪問有無及び頻度) 毎月 2 回、よつば訪問看護ステーションと医療連携をしている。個別で訪問看護の契約をしている方は都度、必要な時に連携している。 (健康チェック方法について) 毎日バイタルチェックを行い健康管理に努めている。	■ 問題なし
11 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) 月 1 度の相談員への報告を必ず行い、些細な事でもすぐに報告するようにしている。 また、担当者会議などは積極的に参加している。	■ 問題なし 毎月の相談支援事業所への報告は評価できますので、引き続き継続してください。
12 その他	<独自に定める項目を記載>	○医療体制について 24 時間 365 日のオンコール体制がある訪問看護と業務委託を結んでおり、定期的な訪問看護で健康管理をしていただいている。必要に応じて、主治医に報告し、指示を仰いでいる。 ○連携について ご家族や外部機関等との情報共有に努め、円滑に連携するように心がけている。	■ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
13(2回目以降) 協議会からの 要望、助言への 対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応) ・以前、水害が多い土地柄なので地域の避難訓練に参加できないかとの話があったそうですが出来ておらず 次回の訓練には参加できるように自治会長さんに予定表をいただく事になった。地域イベントも積極的に参加して行きたい。	① <u>重度化・高齢化を見据えた福祉サービスになりますので、地域定着としての一時保護の受け入れについて関係機関周知をお願いします。また高齢福祉分野との連携も検討をお願いします。</u> ② <u>地域とのつながり方について実現可能な目標設定を行い、利用者をアセスメントした上で、できる方から地域行事への参加を検討してください。また、関係機関や地域との連携を深め、日中支援の更なる充実の検討をお願いします。</u> ③ <u>入社時研修等の充実については評価できます。更なる質の向上、また他の事業所との連携によりノウハウの共有・向上に努めてください。</u>